

編集方針

発行にあたってのご挨拶

東京建物グループの「統合報告書2026」をお手に取っていただき、ありがとうございます。私自身、株主・投資家の皆様をはじめとする様々なステークホルダーの皆様と対話をさせていただいておりますが、当社のことをより深くまでご理解いただき、対話の質を高めるツールとしてご活用いただけることを目指して、毎年コンテンツの改良を図っております。本年は、中期経営計画(2025-2027年度)の順調な進捗に加え、昨今の事業環境の変化を踏まえ、次なる成長や次期経営計画につながる視点をお伝えすべく、各事業に対する認識や持続的な成長を支える財務・非財務資本に関する取り組みなどについて、具体的に掲載しております。

今後も当社の経営ビジョン・目指す姿をよりわかりやすく伝えるべく、開示内容の拡充や工夫、情報の透明性の向上を図ってまいりますので、本統合報告書をぜひ最後までお読みいただき、忌憚なきご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年7月
常務執行役員 小沼 裕

報告対象期間

2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の実績を主な報告対象としています。一部、当該期間以前・以後の活動や見通しについても掲載しています。

報告対象範囲

東京建物株式会社および東京建物グループ会社

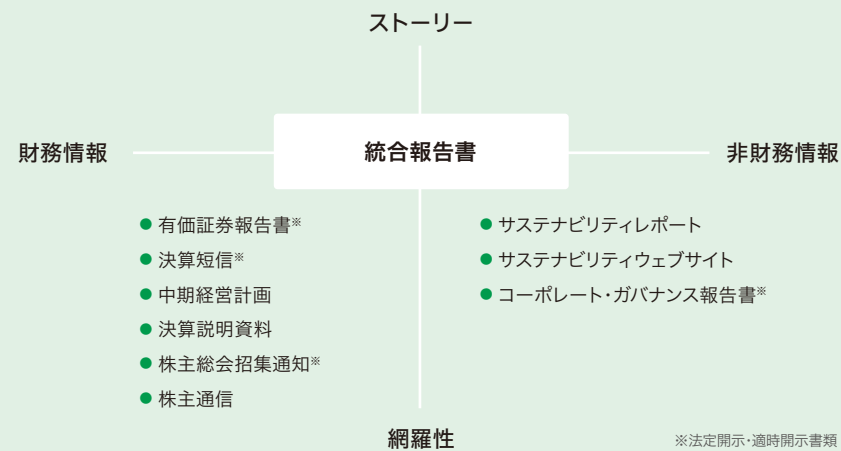
参照したフレームワーク

編集にあたっては、経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」およびIFRS財団「国際統合報告フレームワーク」を参考にしています。また、非財務情報の開示に関しては、GRI(Global Reporting Initiative)スタンダードを参考にしています。

将来情報に関する注意事項

本統合報告書に記載されている将来の見通しに関するデータは、制作時点で入手可能な情報から当社が判断した見通しであり、今後の経済情勢、市場動向、需要、為替レートの変動などにより、実際の業績がこれらの見通しと大きく異なる可能性があります。

情報開示体系



財務情報ウェブサイト

IR情報
<https://tatemono.com/ir/>

IRライブラリー
<https://tatemono.com/ir/library/>



非財務情報ウェブサイト

サステナビリティ
<https://tatemono.com/sustainability/>

サステナビリティレポート 2026
<https://tatemono.com/sustainability/reports.html>

